

①困りごとを抱えた市民の相談イメージ

どこに相談したらいいかわからない人、相談に来るのが難しい人、拒否的な人

地域に出ていき、相談
ニーズを吸い上げる

相 談

身近な地域の「お困りごと相談」
(内容に関わらず相談を丸ごと受け止める)つなぐ
(つなぎ先が明確な場合)

相 談

各相談支援機関等既存の相談窓口
(相談を丸ごと受け止め、連携しながら支援)

「どこにつないだらいいかわからない」・「複雑・複合化」・「制度の狭間」等の事案

多機関協働（支援方針・役割分担決定、進捗管理）

各相談支援機関・アウトリーチ事業者・参加支援事業者・お困りごと相談員等が、世帯構成・世帯状況・過去の相談状況に応じて、役割分担しながら世帯を支援する（支援者による顔の見える関係づくりや、システムによる情報共有により、担当者が代わっても市民に負担がかからないように、支援する）

世帯に
継続して
伴走

課題解決を目指す、解決してもしなくても、つながり続ける

②重層的支援体制実施イメージ

